

2026年度

入学試験問題

(40分)

国語

(アカデミークース)
(国際コース)

学校法人 成美学園

福知山成美高等学校

受験上の注意

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 試験中に問題冊子および解答用紙の汚れなどに気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 解答は、ていねいな字で書きなさい。

【一】次の文章は『アイズニークという聖地』の一節である。アイズニークのイトラクシヨン「カリブの海賊」について説明した次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし、字数については句読点「，」なども一字に数えるものとする。

(注)

- | | |
|---|--|
| 1 | 「オーディオ・アニメトロニクス」のことを指す。「オーディオ・アニメトロニクス」とは、音（オーディオ）、動き（アニメーション）、電子工学（エレクトロニクス）の三要素を結合させたものを指すデイズニー用語。後述の「オーディオ・アニメトロニクス」も同じである。 |
| 2 | 1932年イタリア生まれの哲学者・思想家・作家。 |
| 3 | 『トム・ソーヤ』の第八章で女友達ベッキーに冷たくされて人生に絶望したトムは、何になつたら人々が羨ましがらるうと考えた結果最終的に海賊を理想とするようになった。 |
| 4 | 1904年スペイン生まれの画家。 |
| 5 | 1887年ロシア生まれの画家。 |
| 6 | 1882年ロシア生まれの作曲家。 |
| 7 | 1894年イギリス生まれの小説家。 |

問 1

——線部㉗——㉗の漢字は読みをひらがなで書き、カタカナは漢字に直しなさい。

問 2

——線部⑥——「悦に入る」の本文中での意味として、最も適当なものをア、イ、エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 物事に夢中になって、周囲が見えなくなる。

イ 不満や怒りなどで、気持ちがちんでしまう。

ウ 物事がうまくいって、心うれしい状態になる。

エ 他人の心に入り込み、共感を得ようとする。

問 3

——線部①——「『カリブの海賊』」の本文中の説明として、**適当でないもの**をア、イ、エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「カリブの海賊」には合計一九体のロボットが登場するようになっている。

イ 海賊の性格には、度胸が座っていて気持ちの強いものだけが存在している。

ウ 海賊が見せる「演技力」には観客の平穏な心を大きく揺さぶる性質がある。

エ 眉間のしわや笑顔は善悪の区別を見せるために誇張されたものである。

問 4

——線部②——「疑心暗鬼が生じてくる」のはなぜか。最も適当なものをア、イ、エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 海賊と目が合うことで、擬似世界に居るといふ実感を持つて楽しむことができるから。

イ 偽物とは理解していても、目が合うことで本物ではないのかと疑うほど精巧にできているから。

ウ デイズニ一の作戦として、観客に「演技」だと思わせない工夫を徹底的に教えられているから。

エ 実際の海賊がわからなくても、アトラクションで出会うことにより一体感を持つことができるから。

問5

空欄部【 A 】に入る言葉として、最も適当なものをア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 本物と偽物
- イ 個性と共有
- ウ 役割と性格
- エ 言葉と感性

問6

線部③「人間らしさを真似たのでは不十分」であるのはなぜか。最も適当なものをア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人間のドラマを通じて、観客が親近感を覚えるような状態でなければならぬから。
- イ お金をもらっている以上、観客には楽しんでもらわなければならないという義務感があるから。
- ウ 現実を忠実に再現し、雰囲気や音も含めて観客に「本物の佳作」を感じさせたいから。
- エ 限られた時間の中で、観客に理解してもらうためには人形を誇張する必要があるから。

問7

線部④「『本物以上の本物らしさ』」を筆者は「超リアリズム」と表現しているが、デイズニールランドにおける「超リアリズム」の意味を説明した一文を抜き出し、最初の五字を答えなさい。

問8

——線部⑤「デイズニ一の魔法の王国の本質」とはどういうものか。最も適当なものをア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 判断力や平衡感覚を奪うことで実現する、カンベルト・エーコが考える「リアリズムの過小表現」に従ったもの。
- イ 「まるで本物そっくり」と思わせるような、現実を忠実に再現しようとする「ニセモノの大傑作」を追求するもの。
- ウ ある現象にまつわる事実の数々から取捨選択し、現実を虚構化してリアリズムを再現することに注力したもの。
- エ 現実を一旦虚構化し、その虚構を再び現実化するという二重のトリックによって「幻想を忠実に再現」しようとするもの。

問9

——線部⑦「世界の芸術家たちの注目を集めてきた」のはなぜか。最も適当なものをア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア デイズニ一の作品は観客の心をつかんでおり、芸術家にとつては不安や夢を描くための素材になるから。
- イ デイズニ一の作品は本来共立することのない幻想と現実が一つになっているから。
- ウ 芸術家にとつてデイズニ一と共同して作品を作るためには、演出やテクノロジーを学ぶ必要があるから。
- エ 幻想的風景を描き出すためにデイズニ一の世界観はうってつけたから。

問10

——線部⑧「両者の作風がしよせん相容れない」のはなぜか。最も適当なものをア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人としては親しくしていても、職業が大きく異なるためお互いに学ぶべき要素はないと確信していたから。
- イ 芸術には技術的な要素よりも空想的表現が必要であるため、デイズニ一の演出力や技術はあてにならないから。
- ウ 一方は現実を超越したものを生み出し、他方は現実の誇張表現を生み出しているところに差異があるから。
- エ ダリの不安や夢を表現しようとする作風と、デイズニ一のファンタジーを表現しようとする作風は類似しているから。

問 11

本文の説明をしている次のア～オについて、本文に合っているものには「1」を、間違っているものには「2」をそれぞれ書きなさい。

- ア 「カリブの海賊」の義眼を注文されたメーカ―は、両眼のセツトに驚くだけでなく細かい指示内容に疑問を抱いていた。
- イ ロボットに人間らしさを持たせるためには、誇張表現をできるだけ廃し「本物そっくり」に近づけなければならない。
- ウ ロウ人形館とデイズニードは、リアリズムの追求に関して違いはあるものの現実の再現という点では同じである。
- エ 「ニセモノの大傑作」を完成させるために「カリブの海賊」を例にすると、二つの過程を必要としていることがわかる。
- オ デイズニードという擬似世界は、「シニール・リアリズム」という要素を取り入れることで人々を楽しませている。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし、字数については句読点、「」なども一字に数えるものとする。

其冬の十二月半ば、戸部^{とく}帰り参り給ひしかば、つねにかたはらにさぶらふ事もとのごとし。明けの年の秋、また国にゆき給ひしあとにて、課をたてられて、「日のうちには、行・草^{ぎょう}の字三千、夜に入りて、一千字を限りてかき出すべし」と命ぜられたり。冬に至りぬれば、日短^{ひみ}じかくなりて、課^かいまだみたざるに、日暮^{ひくれ}んとする事たびたびにて、西向なる竹縁^{たけぐし}のある上に机をもち出て、書終りぬる事もありき。また夜に入りて手習ふに、睡^ねの催して堪^たがたきに、我につけられしものとひそかにはかりて、水二桶づつ、かの竹縁^{たけぐし}に汲^{くみ}おかせ、いたくねぶりの催しぬれば、衣ぬぎすてて、まづ一桶の水をかかりて、衣うちきて習ふに、はじめひややかなるに目さむる心地すれど、しばし程経ぬれば、【A】あたたかになりて、またまたねぶくなりぬれば、又水をかかる事さきの事のごとくす。一たび水をかかりぬるほどには、大やうは課をもみてたりき。これ、我^{われ}九歳の秋・冬の間の事也。

(出典 新井白石『折たく柴の記』)

問 1 ― 線部①「十二月」の読みとして、最も適当なものをア、イ、ウ、エ、オの中から選び、記号で答えなさい。

ア きざらぎ イ しわす ウ やよい エ しもつき オ ながつき

問 2 ― 線部②「かたはらにさぶらふ」を現代仮名遣いに直しなさい。

問 3 ― 線部③「課」の内容を具体的に述べている一文を本文中から抜き出し、最初と最後の五字を答えなさい。

問 4 — 線部④「西向なる竹縁のある机をもち出て」とあるが、なぜか。その理由として、最も適当なものをア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 夜になって眠くなってきたから。

イ 同じ場所です長時間座っていると眠くなるから。

ウ 西日のあたるところに移動しなければ、字が書けないから。

エ 竹縁の上のほうで、きれいに字が書けるから。

問 5 — 線部⑤「はかり」、⑥「いたく」の意味として、最も適当なものをア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

⑤「はかり」

ア 調べ イ だまし ウ 相談し エ 考え

⑥「いたく」

ア ひどく イ 痛い ウ 大きく エ たまたま

問 6 空欄部「 A 」に入る言葉として、最も適当なものをア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 水

イ 衣

ウ 日

エ 身

問7

——線部⑦「大やうは課をもみてたりき」の現代語訳として、最も適當なものをア、イの中から選び、記号で答えなさい。

ア 日が昇るまでには日課は終わっていた。

イ 父の命じられていた日課を毎日こなした。

ウ 日課はだいたい満たすことができた。

エ 日が暮れて日課をやり終えることができなかった。

問8

本文内容として、**適當でない**ものをア、イ、エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 冬になると、日課がまだ終わらないうちに日が暮れようとするのがたびたびあった。

イ 水を二桶ずつ汲んでおかせ、眠気が襲ってくると、一気に二度水をかぶることがあった。

ウ 私が九歳の頃、日中に行・草書の字三千、夜に一千字を書いて出すように命じられた。

エ 私が八歳の冬の十二月なかばに、戸部が戻ってこられたので、いつもそばにいたことになった。

問9

この文章の主題にふさわしい故事成語として、最も適當なものをア、イ、エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 塞翁が馬 イ 矛盾 ウ 温故知新 エ 蚩雪の功

訂正

【二】

【誤】

問 4 —線部④ 「西向なる竹縁のある机をもち出て」

【正】

問 4 —線部④ 「西向なる竹縁のある上に机をもち出て」